

## 電動式（重量・軽量）シャッター取扱説明書

《 お客様のお手元に必ず保管してください。》

### 目 次

- 1 構成部材の名称
- 2 開閉方法
- 3 取扱上の注意事項
- 4 停電時の取扱い
- 5 保守点検及びメンテナンス

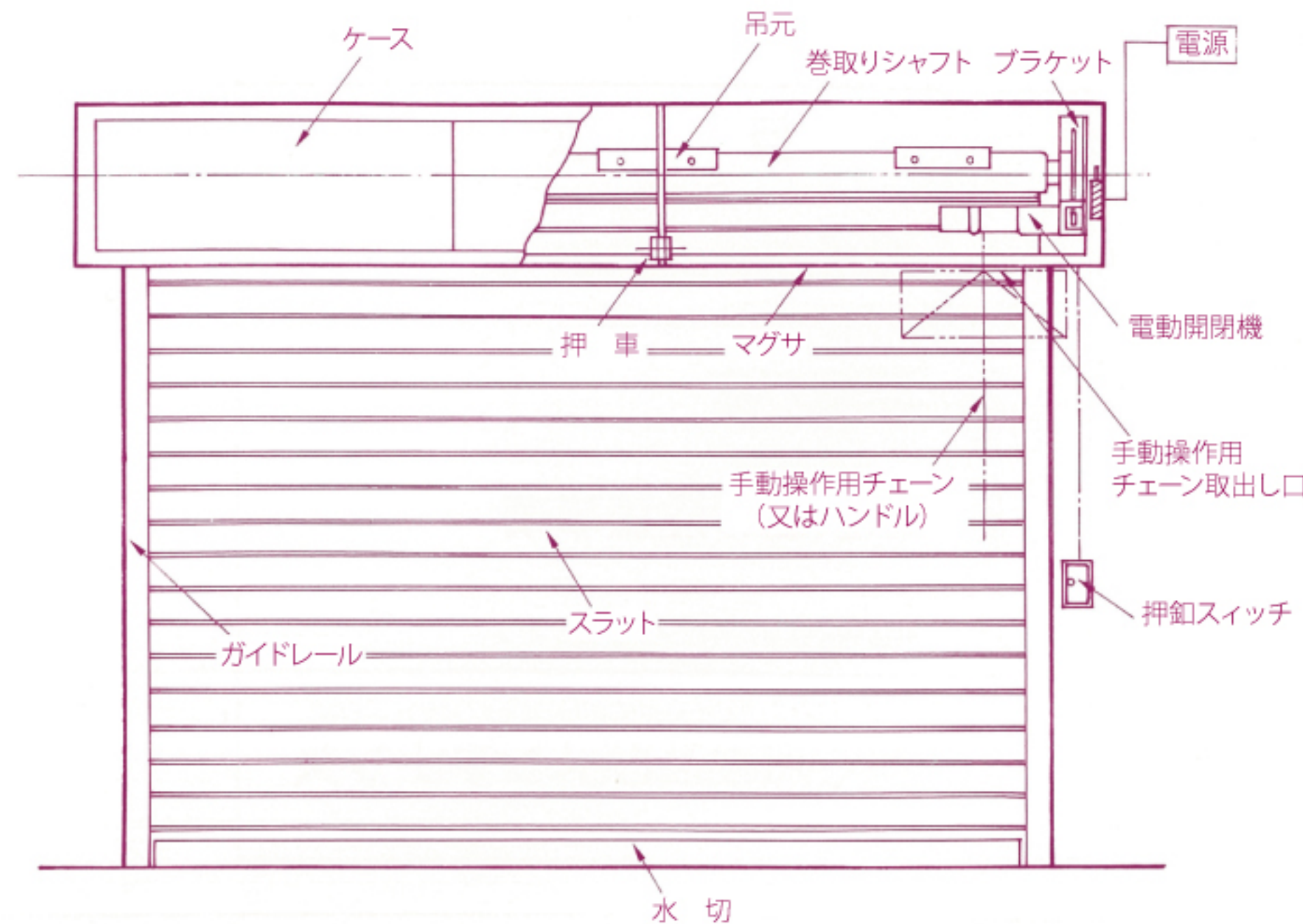


# 電動式シャッター

このたびは、当社のシャッターを  
ご採用いただきありがとうございました。

より安全に、末永くお使い頂くために  
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご利用くだ  
さいますようお願い申し上げます。

## 1 構成部材の名称



電動シャッターは巻取りシャフトを電動開閉機（モーター）により回  
転させて、スラットを巻上げます。

開口部の大きなシャッターでも、押釦スイッチを操作することにより  
安全、確実に開閉することが可能です。

いつも正しいシャッターの操作をする習慣をつけましょう。  
それがシャッターを長持ちさせる秘訣です。

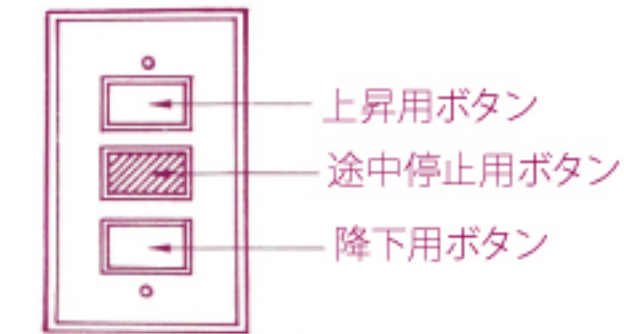
## ■ 電動式シャッター用語の説明

- ①スラット シャッターカーテンを構成する部材
- ②吊元 スラットの最上部で巻取りシャフトと連結する部材
- ③水切 スラットの最下部に取付けられる部材
- ④巻取りシャフト スラットを巻取る軸
- ⑤ブラケット 巻取りシャフトを保持するもので、軸受けと一体になっている
- ⑥ガイドレール 開閉時スラットをガイドする左右の溝
- ⑦マグサ 天井面又はケース下面における開口部の見切材
- ⑧ケース スラットの巻取り部分をおおうもの
- ⑨押車 スラットと内マグサの接触を防ぐ案内車
- ⑩電動開閉機 シャッター開閉のための回転力を発生させる装置
- ⑪押釦スイッチ 電動開閉機を動作させるためのスイッチ

## ■ 操作スイッチの種類

### ● 押釦スイッチ

一般に建物の内部に取付けて操作するスイッチです。



### ● 押釦スイッチ（蓋付）

建物の外部や不特定多数の人が出入りする建物に取付け、シャッ  
ターを管理する人のみが操作する錠付のスイッチです。



### ● リモコンスイッチ

車に乗ったまま操作できるスイッチです。

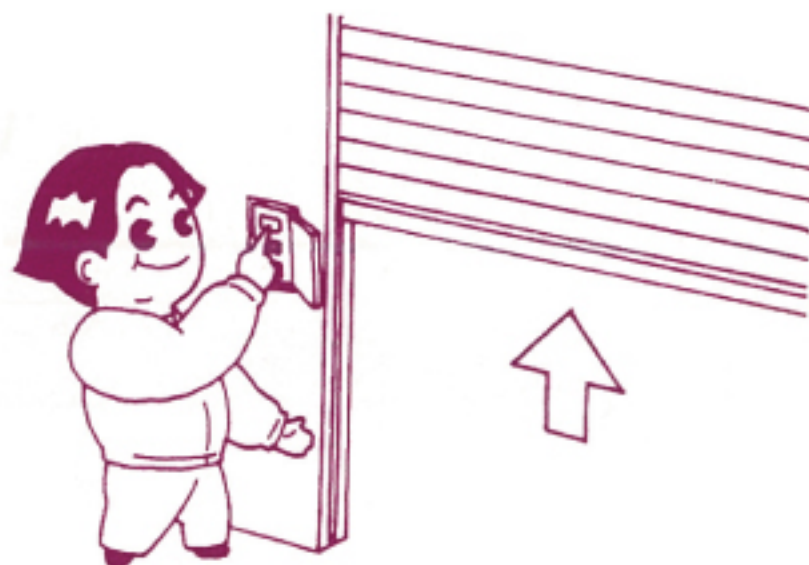




## 2 開閉方法

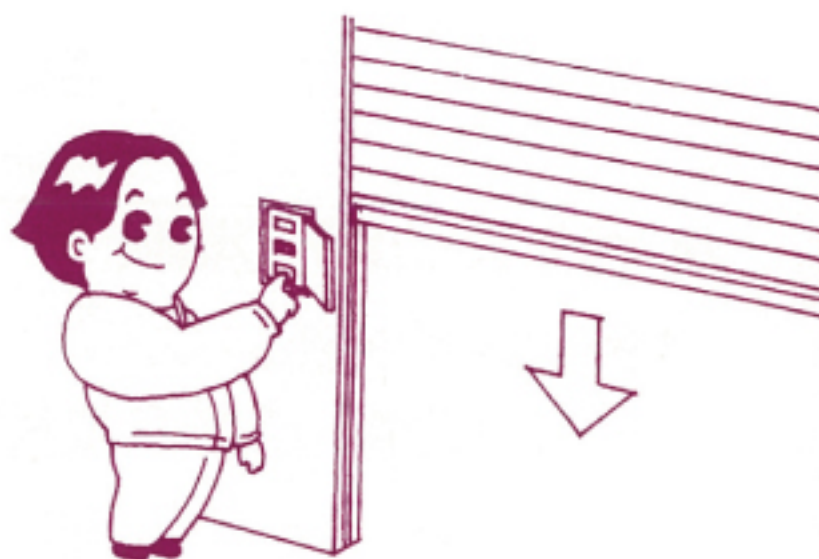
### 開ける時

押釦スイッチの[上]のボタンを押してください。シャッターは上昇し、全開後、上限にて自動的に停止します。



### 閉める時

押釦スイッチの[下]のボタンを押してください。シャッターは降下し、全閉後下限にて自動的に停止します。



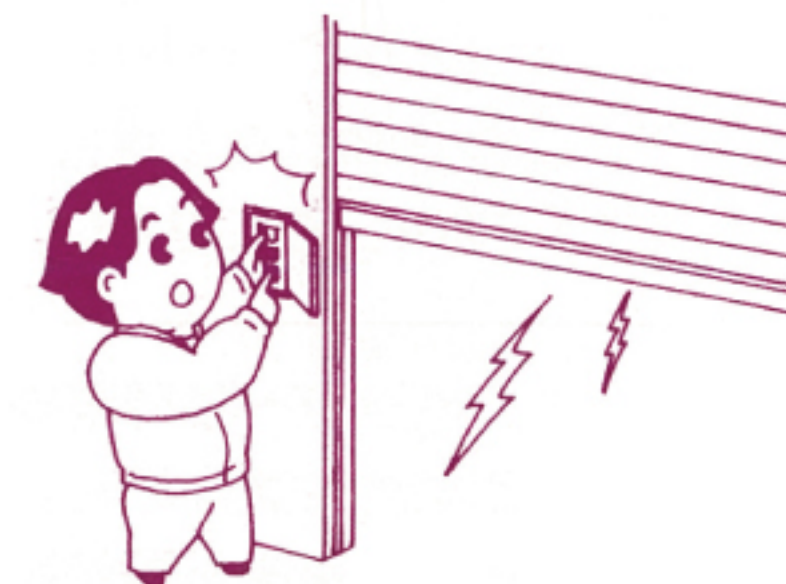
### 停める時

上昇及び降下途中、停止させる時は、押釦スイッチの[真中]のボタンを押してください。シャッターは任意の位置で停止します。



## 3 取扱上の注意事項

①押釦スイッチはあまり急激に強く押さないで、ゆっくりと確実に押してください。又、押釦スイッチの[上]と[下]を同時に押さないでください。



②シャッター降下中に、急に上昇させたい場合(又は上昇中に降下させたい場合)は、必ず[真中]の停止用ボタンを押し、シャッターの停止を確認してから次の操作のボタンを押してください。



③シャッターを開閉させる時、人の出入りが無いかを確認の上操作してください。



注意

シャッターの作動中は絶対に入りしないください。

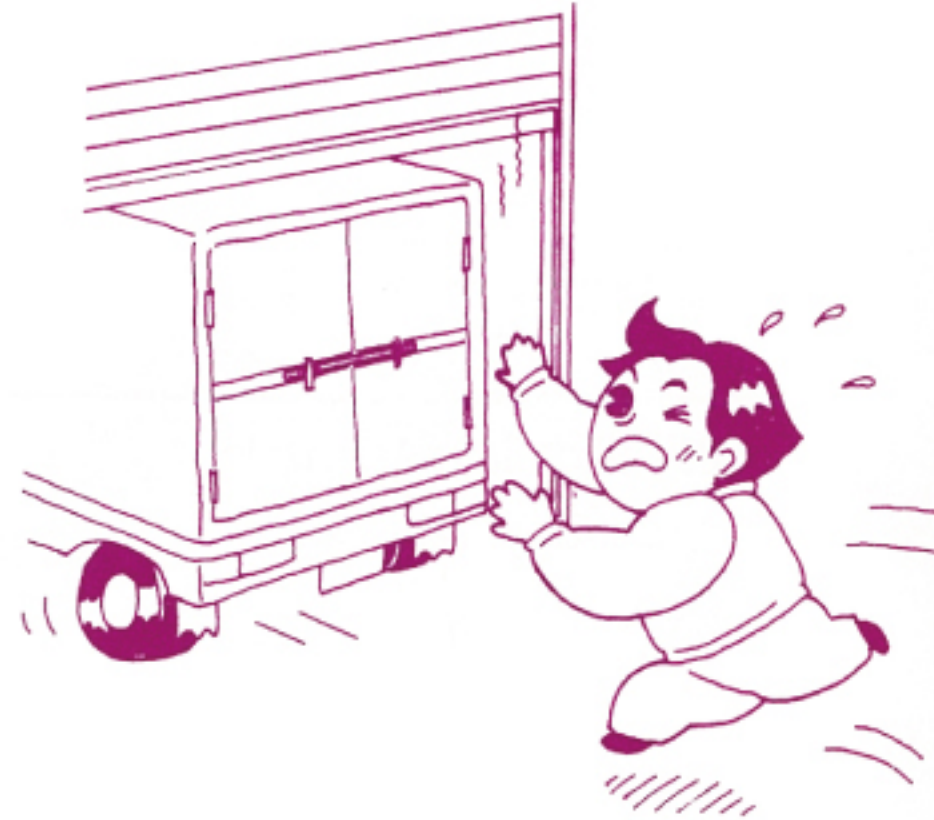


- ④シャッターの降下ライン上に障害物を置いたり、物を立てかけたりしないでください。もし、障害物がある場合は、必ず取り除いてから操作してください。

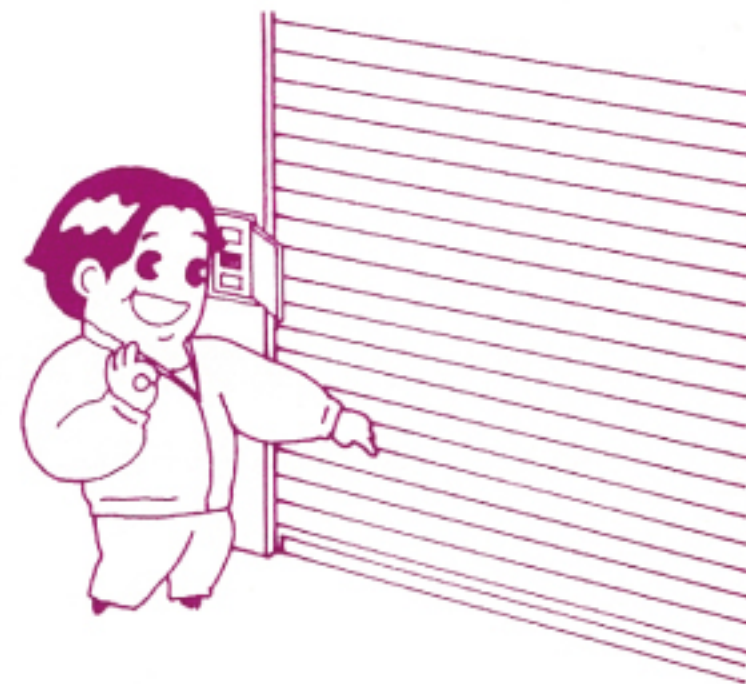
障害物検知装置（座板式）は定期的に電池の交換を、光電管式はレンズの清掃をして下さい。



- ⑤シャッターの操作中、思いがけない事態がおこる場合がありますので、いつでもシャッターを停止できるようにスイッチのそばを離れないでください。



- ⑥シャッター操作時、開ける場合は上限停止、閉める場合は下限停止を必ずスイッチのそばで最後まで確認してください。



- ⑦シャッターの開閉機用のモーターは特殊（定格）モーターですので短時間内の連続運転をしますと焼損する恐れがありますのでご注意ください。



### ■自主点検（日常の操作時の注意事項）

- ①ガイドレールにゴミや物がはさまっていたらすぐに取り除いてください。



- ②シャッターのスラットやガイドレールに使用上有害な変形がないか確認してください。



- ③シャッターの上限・下限の停止位置は良いか、また途中停止が可能か点検してください。



- ④シャッターの開閉状態は円滑か、開閉中に異常音が出ていないかチェックしてください。





- ⑤あまり使用していないシャッターでも一ヶ月に一度は開閉して、正常に動作することを確認してください。



- ⑥できるだけ多くの人に日頃からシャッターの操作方法や取扱いについて説明し、修得するようにしてください。



- ⑦パイプシャッターの場合、スラット（パイプ）によじのほったり、物を引っ掛けたりしないでください。又、パイプが曲っていたり、破損していないか確認してください。



シャッターの異常を発見した場合  
メーカー又は販売店にご連絡ください。

## 4 停電時の取扱い

### ■ 電動式シャッター

停電時、電動シャッターを、手動で開閉する場合天井に設けられた天井点検口又は、シャッターケースの下面にあるチェーン取出し口を開き手動操作用チェーンとヒモを取り出してください。

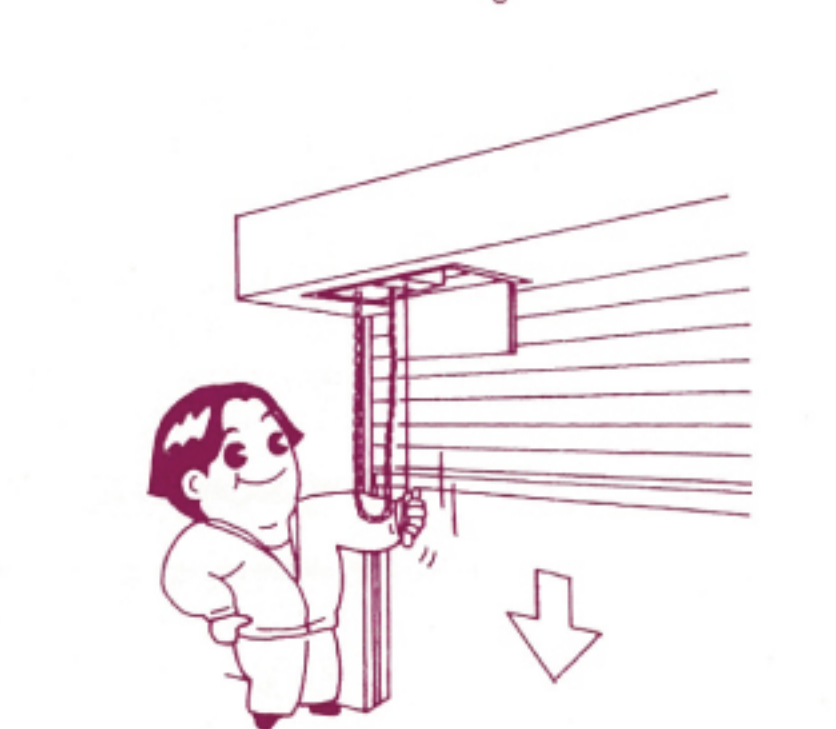
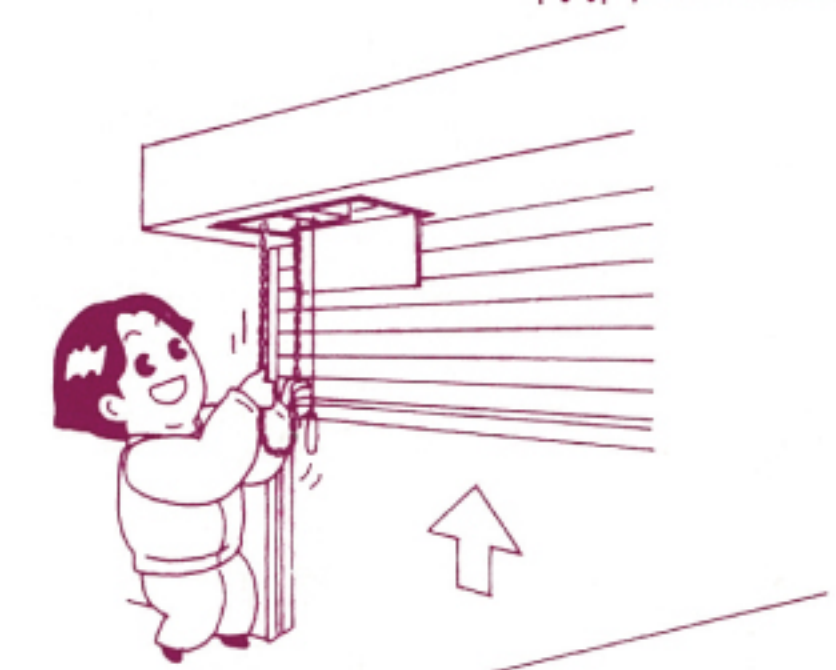
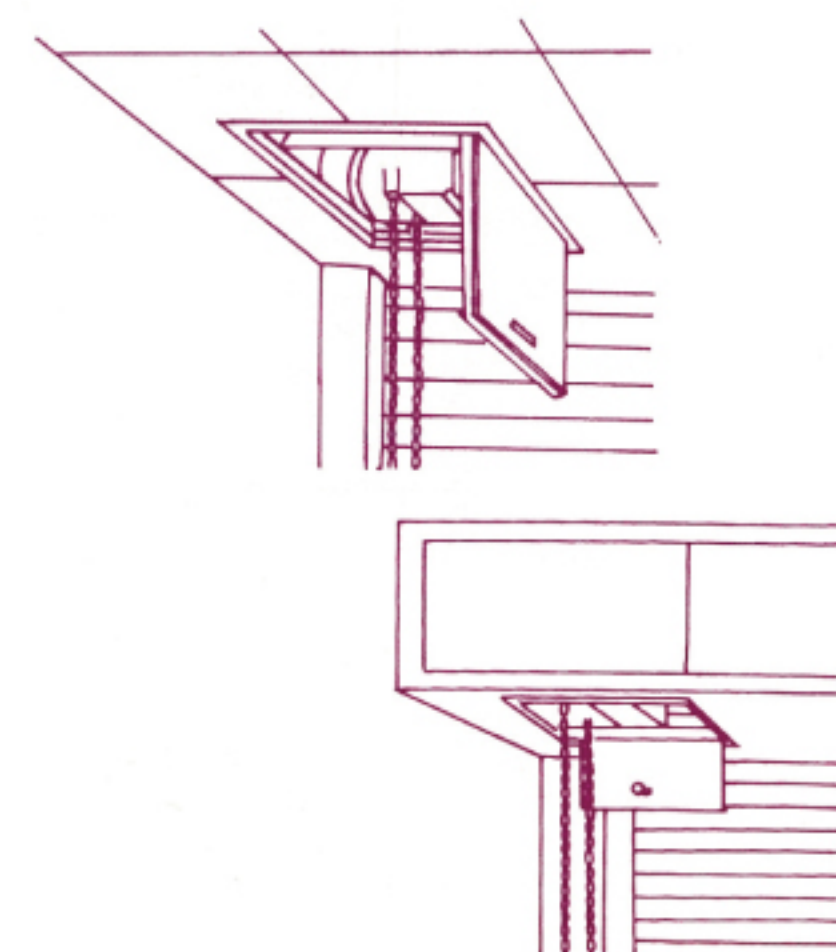
#### 開ける時

手動巻上げチェーンを繰り返して引いてください。少しずつ上昇します。水切がケース下面又は、天井下面まで上がったら止めてください。ハンドル式の場合は、開閉機の後部の差込み口にハンドルを差込み、ハンドルを回すとシャッターは上昇します。

#### 閉める時

手動降下レバーから下がっているヒモを軽く引張ってください。ヒモを引張っている間、シャッターは自重により少しずつ降下します。止めたい位置又は、床面まで降下したら手を離してください。自動的にブレーキがかかり停止します。

**⚠ 注意**  
シャッター降下時障害物は必ず  
取り除いてください。





## ■ バネ併用式電動シャッターの停電時の操作方法

(バネ併用式電動シャッターとは、ローラーチェーンを使用していないシャッター)

- ①ブレーカーまたはコンセントを抜いて電源を切ってください。



注意

シャッターの降下ライン上には障害物を置かないでください。

- ②シャッターケース内または外部のワイヤーをゆっくり引いてください。



注意

ワイヤーを強く引くと切れるおそれがあります。  
高い場所での作業は、足場の安全を確保してください。

- ③手動でシャッターを開閉できます。



注意

操作時、急にシャッターが動く(上がったたり降りたりする)場合があります。手動でシャッターを降ろした時は、ロック機能がありません。盗難に注意してください。

- ④停電が復旧しましたら、もう一度ワイヤーをゆっくり引いてください。

- ⑤ブレーカーまたはコンセントを入れ、押釦スイッチ(上・下)を押して電動で動くことを確認してください。なお電動でシャッターが動かず、モーターの音だけがしている場合は、ワイヤーの引きが足りないためにクラッチが入っていないことがあります。電源を切り④ワイヤーを確実に引いてから再度⑤確認してください。

※機種によっては操作方法が異なりますので、施工業者にお問い合わせ下さい

## 5 保守点検及びメンテナンス

建築物に設置されたシャッターは、正常に作動しているからといっても安心はできません。どんな優秀なシャッターでも無理な使い方をしたり、手入れもせずに酷使したりすると正常に機能しなくなることがあります。

電動シャッターには数多くの消耗品が使われていますので、毎日シャッターを正常に作動させるために、年2回の保守点検の実施をお勧めいたします。



警告

巻取りシャフト・電動開閉機・駆動チェーン・吊元等の駆動部分及び制御盤・配線部分等の電気系統には絶対に手を触れないでください。不用意に手を触れると大怪我をすることがあります。

シャッターに関する疑問点や異常がある場合はメーカー又は販売店にご連絡ください。